



なかのdeかいごタイムズ Vol.6

「終末期の支援」

<研修資料抜粋>

終末期とは
(全日本病院協会・終末期医療に関するガイドラインより)

- 複数の医師が客観的な情報を基に、治療により病気の回復が期待できない
- 患者が意識や判断力を失った者・家族・医師・看護師等
- 患者・家族・医師・看護師予測し対応を考えること

*上記3つの条件を満たす場合

終末期におけるケアの概念
(終末期ケア専門士試験テキストより)

ケア	時期	期間の長さ	対象	目的
緩和ケア	生命を脅かす疾患に罹患したことが明らかになったから	長い	生命を脅かす疾患に罹患した患者とその家族	苦痛を和らげること
ターミナルケア	人工的終末期を迎え、短い時期	短い	終末期を迎えた方とその家族	穏やかに過ごせるようケアを行う
ホスピスケア	余命が短いことが明らかになってから	最も短い	余命が短い患者とその家族	身体的・精神的・社会的ケア

一人ひとり死生観は違う

終末期ケア
自分の死生観を押
自分の価値観眼鏡

終末期ケアはその人を知ることから

- 死生観、価値観
- 好きな事・者・人
- これからやりたいこと
- 大切にしていること

第6回介護サービス事業所研修を開催！

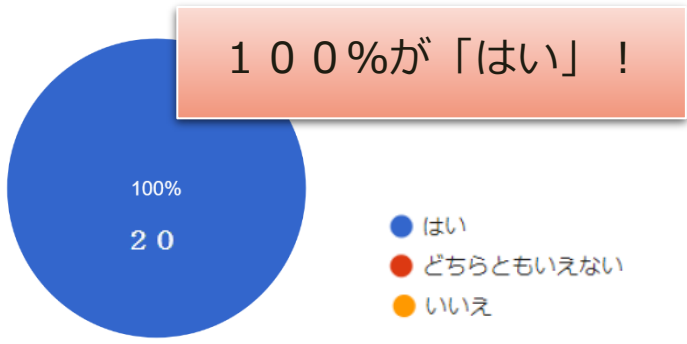
10月8日に第6回目の令和6年度中野区介護サービス事業所研修を開催しました。第6回は介護サービス事業所に従事する方に向けた研修として、「終末期の支援」をテーマに実施し、20名の方にご参加いただきました！

日常の中では、あえて語る機会も少なく、家族同士だからより話題に出しづらい「死」について考える機会となりました。立場や職種を問わず、その人の終末期に関わるすべての人がケアの実践者として改めて認識することができた研修でした。

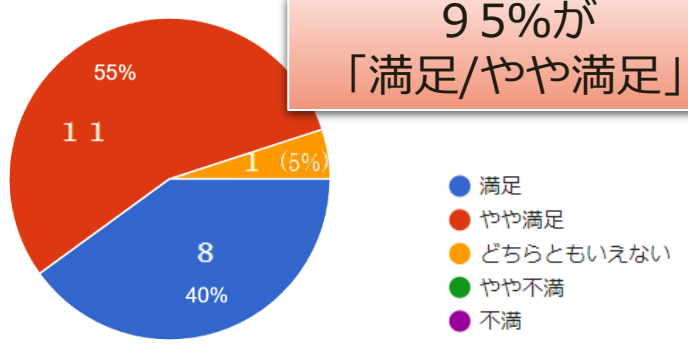
介護サービス事業所研修では現場のお仕事や事業所運営に役立つ研修を行っております。また次回のご参加をお待ちしております。

研修後アンケート結果（参加者20名）

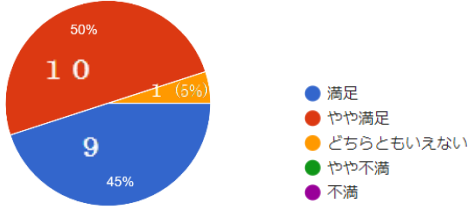
・研修の内容は業務に活かせるものでしたか？



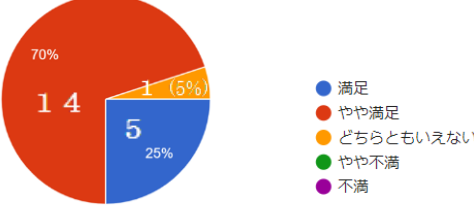
・研修の満足度を教えてください



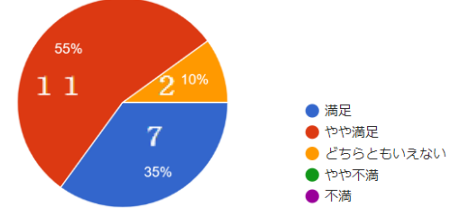
・研修内容：95%が「満足/やや満足」



・研修資料：95%が「満足/やや満足」



・講師：90%が「満足/やや満足」



アンケート回答より、ご受講いただいた方々のご意見を紹介します！

Q.研修を受けて今後取り組んでいきたいこと

- ・終末期ケアというのは、「死」の準備ではなく「生きる」を最後まで支えるというこがととても心に残りました。どうして暗い話になってしまいましたが、生きるを支えると考えるとまた違った見方が出来る気がしました。
- ・終末期ケアのとらえ方。死を迎える準備→× 最後まで生き抜くことを支える→○ この考え方を共有する。
- ・まずはスタッフと互いの生死観を話してみたいです。